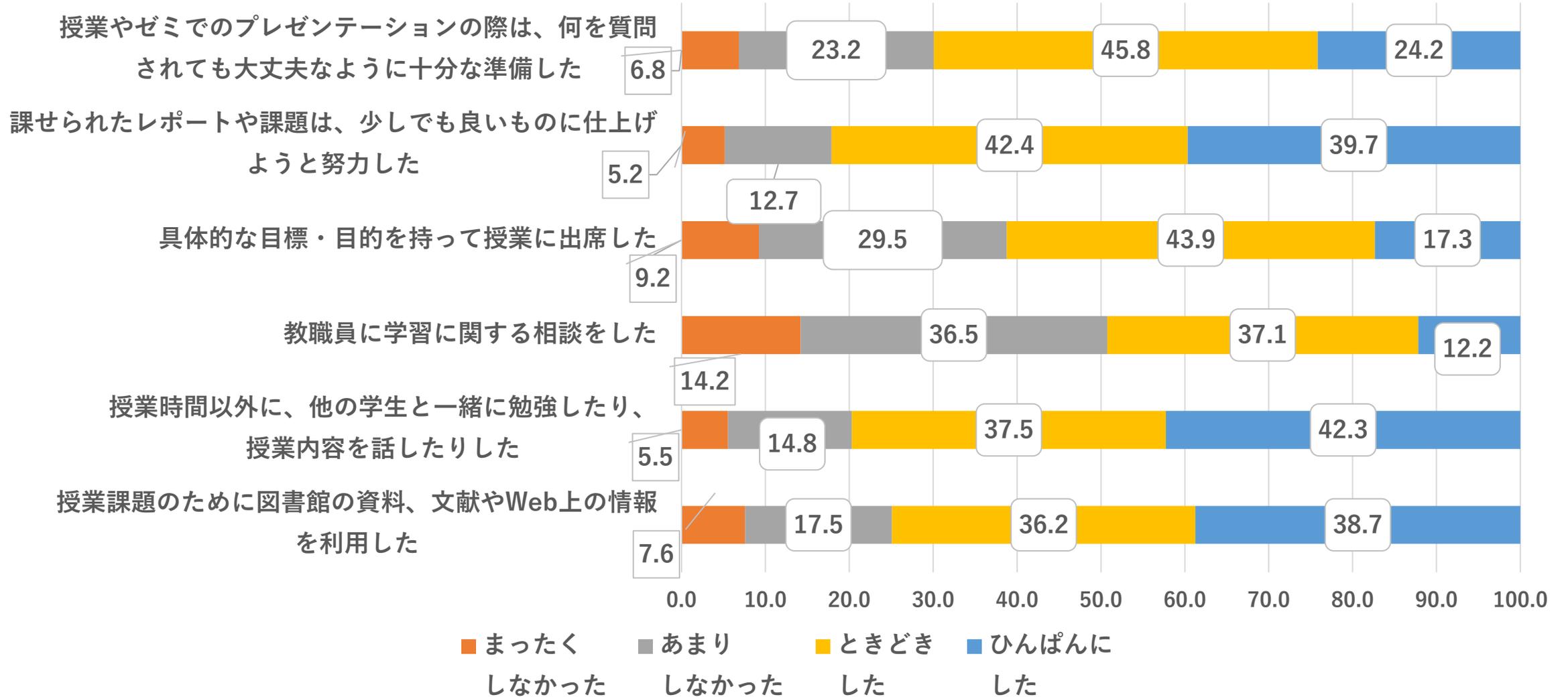


2023.卒業時アンケート

保健学部

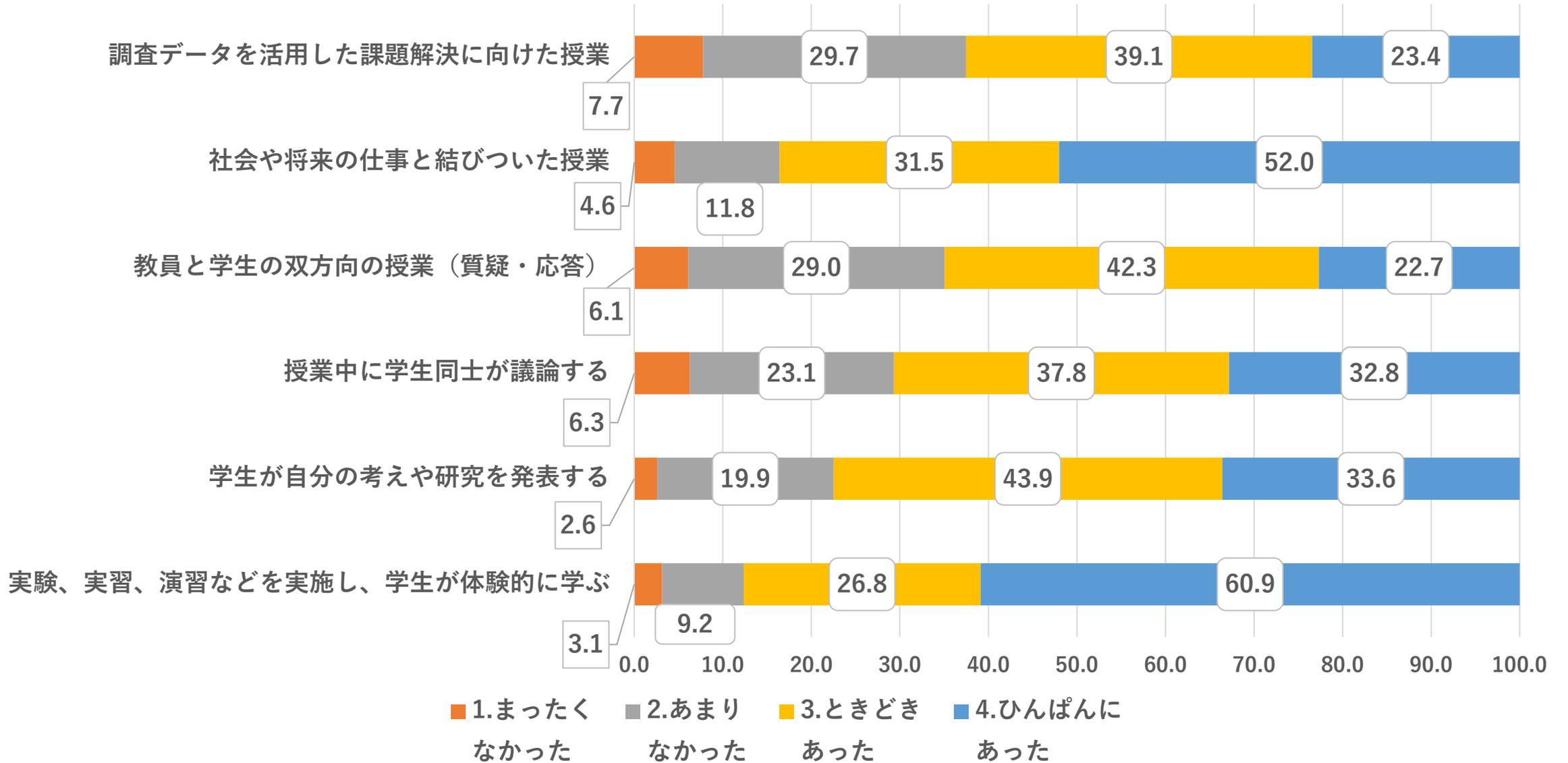
学習態度・行動

単位：%



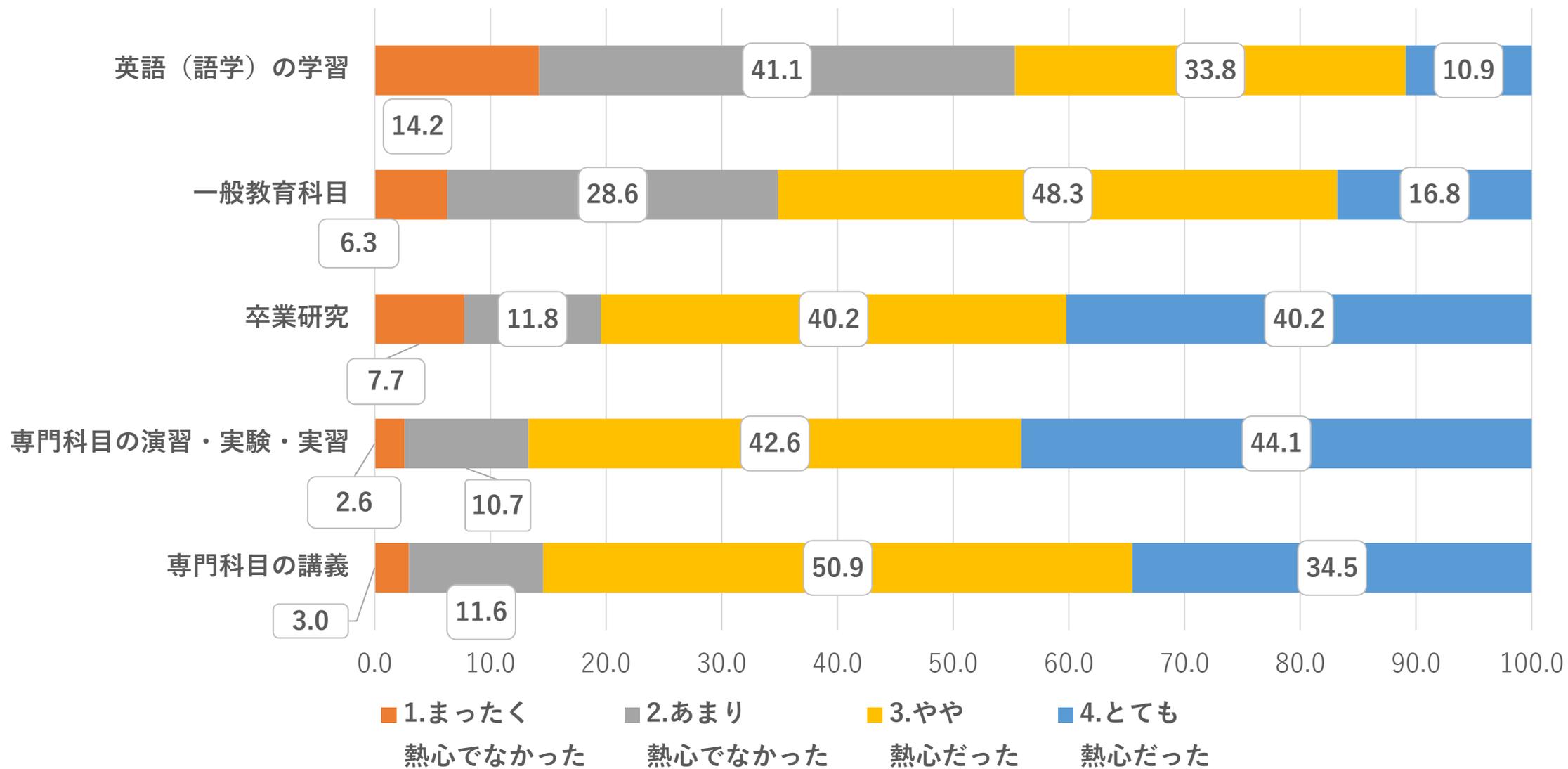
学習経験・機会

単位：%



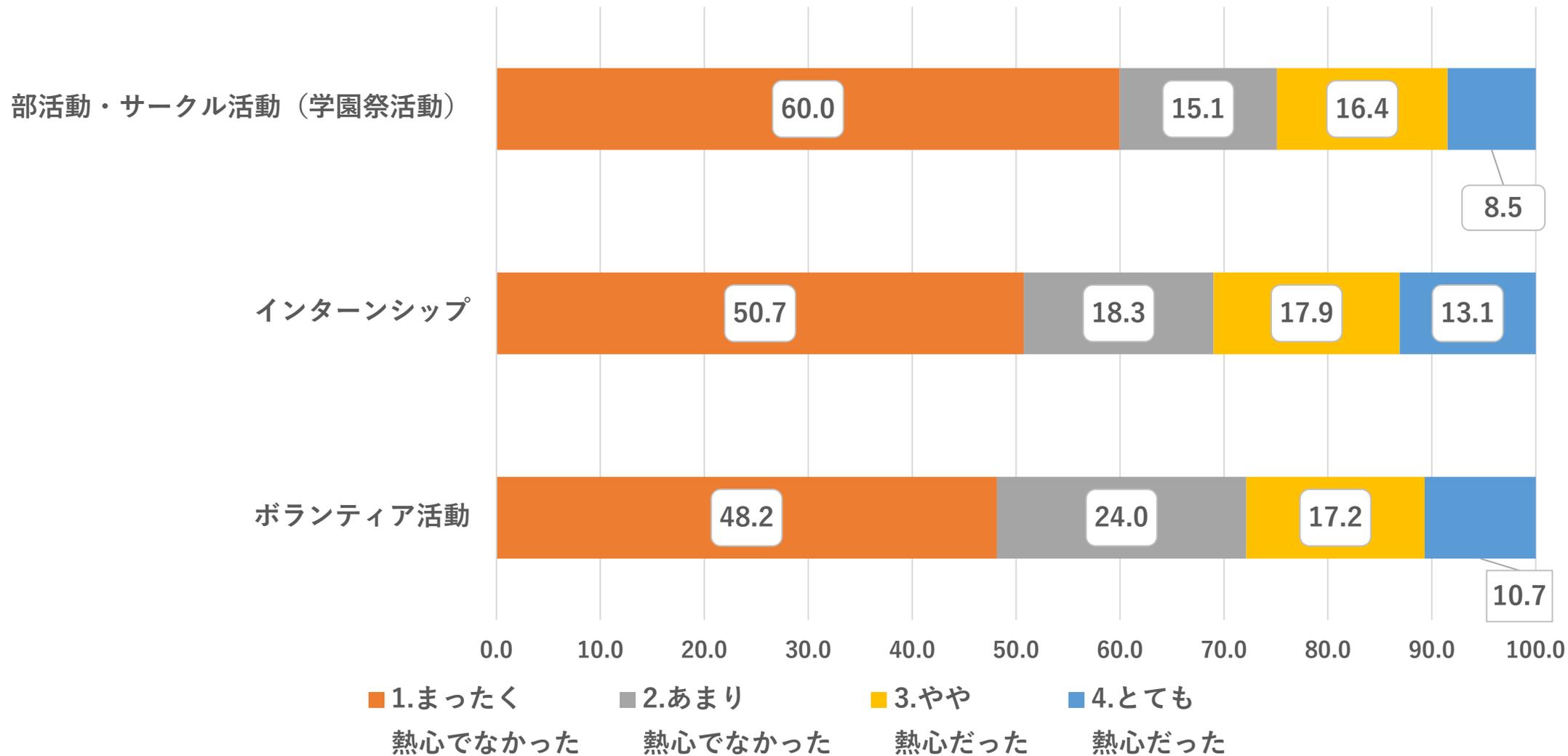
正課教育 学習意欲

単位：%



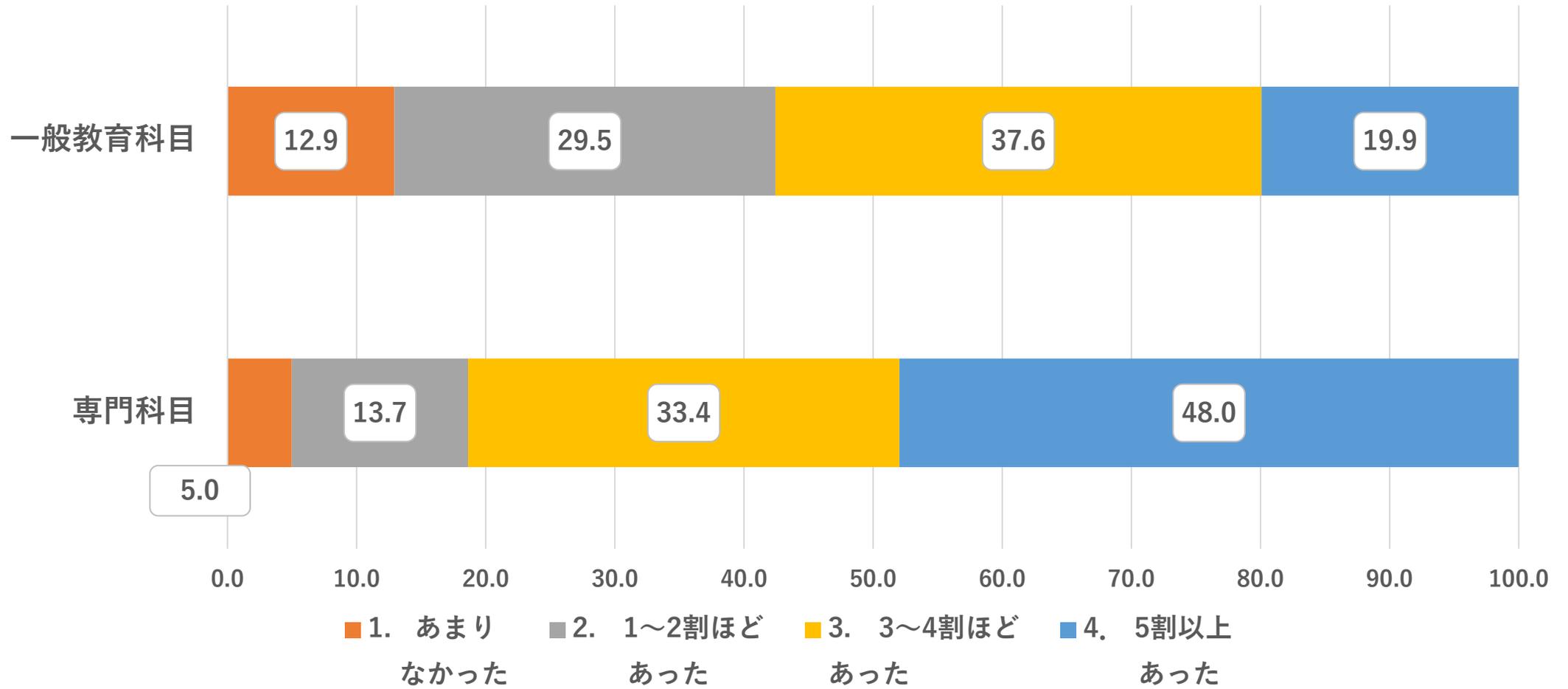
正課外活動の意欲

単位：%



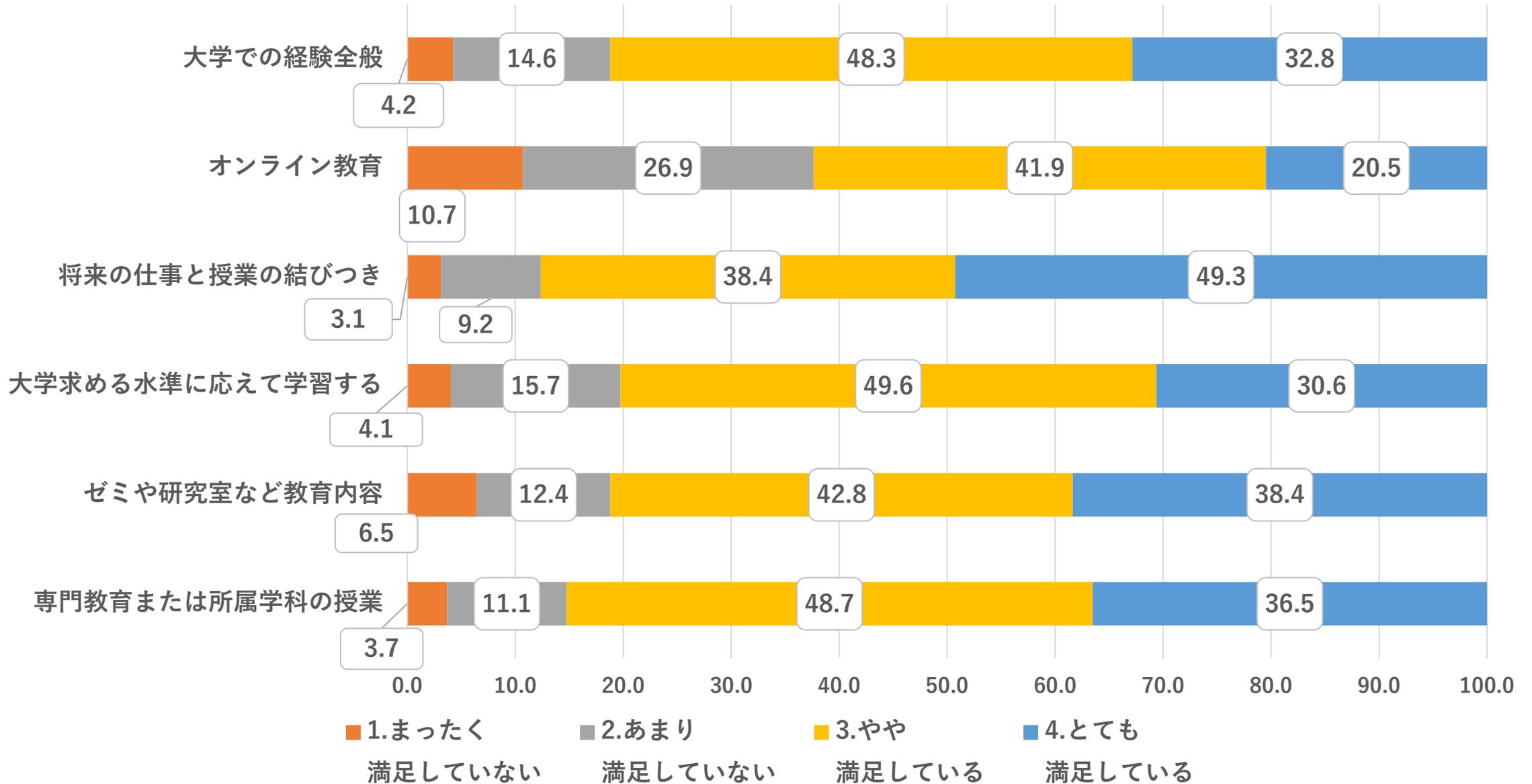
一般科目・専門科目の興味・関心

単位：%



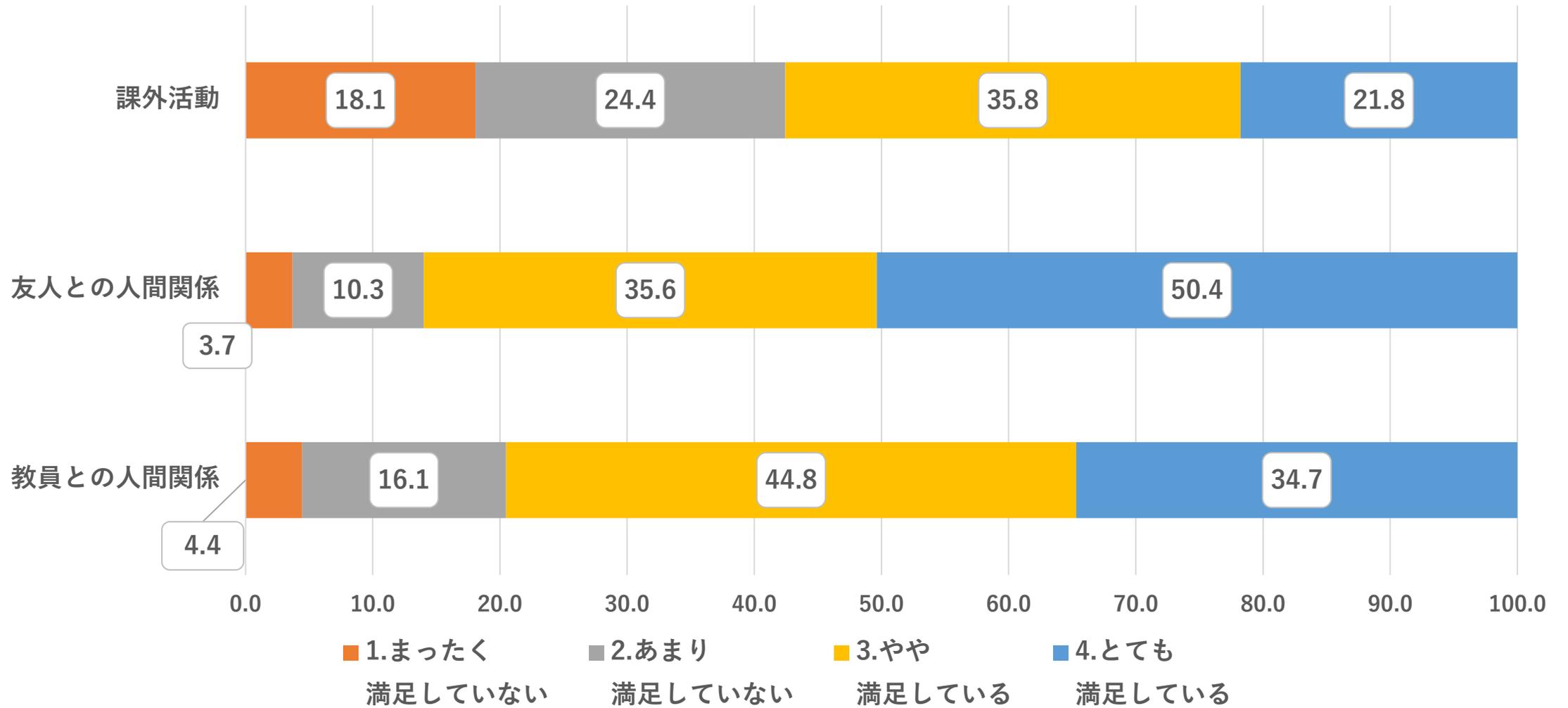
教育内容 満足度

単位：%



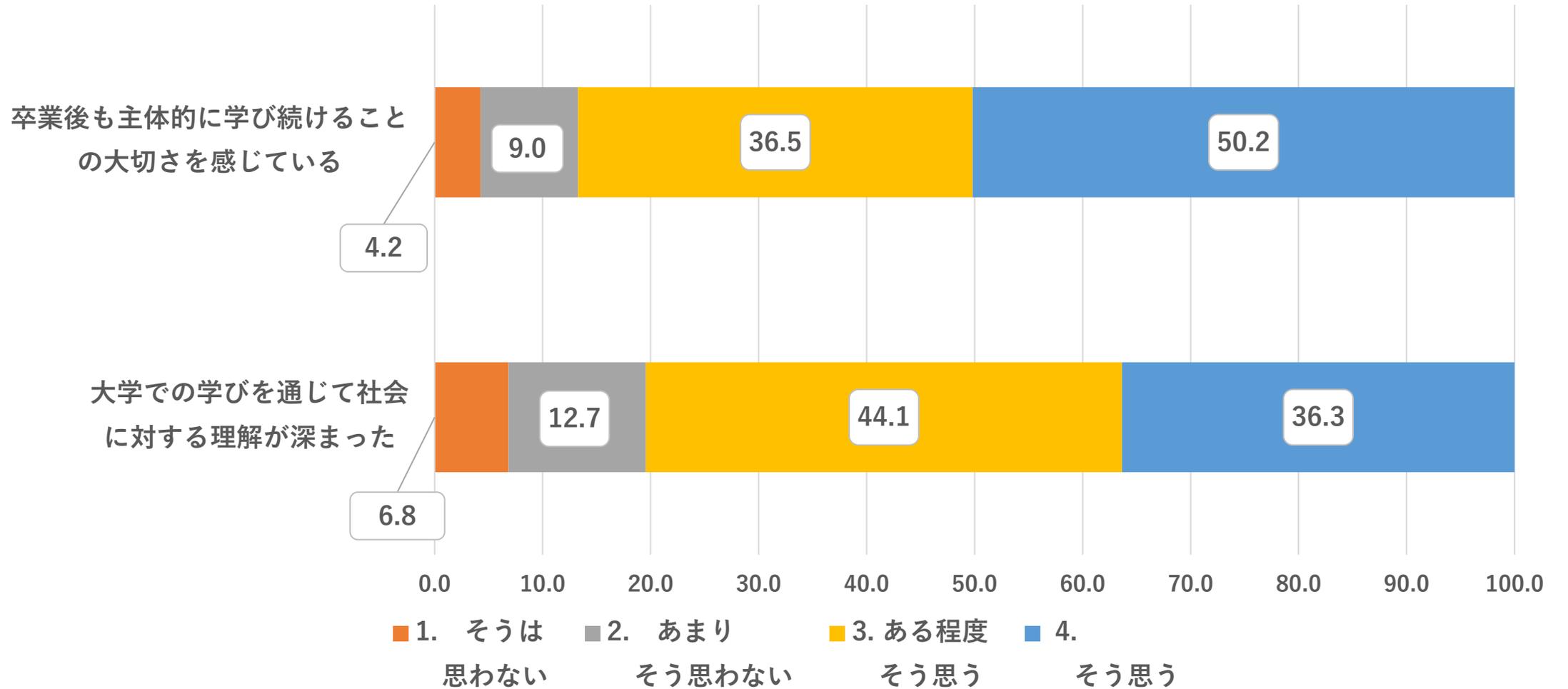
人間関係・部活動 満足度

単位：%



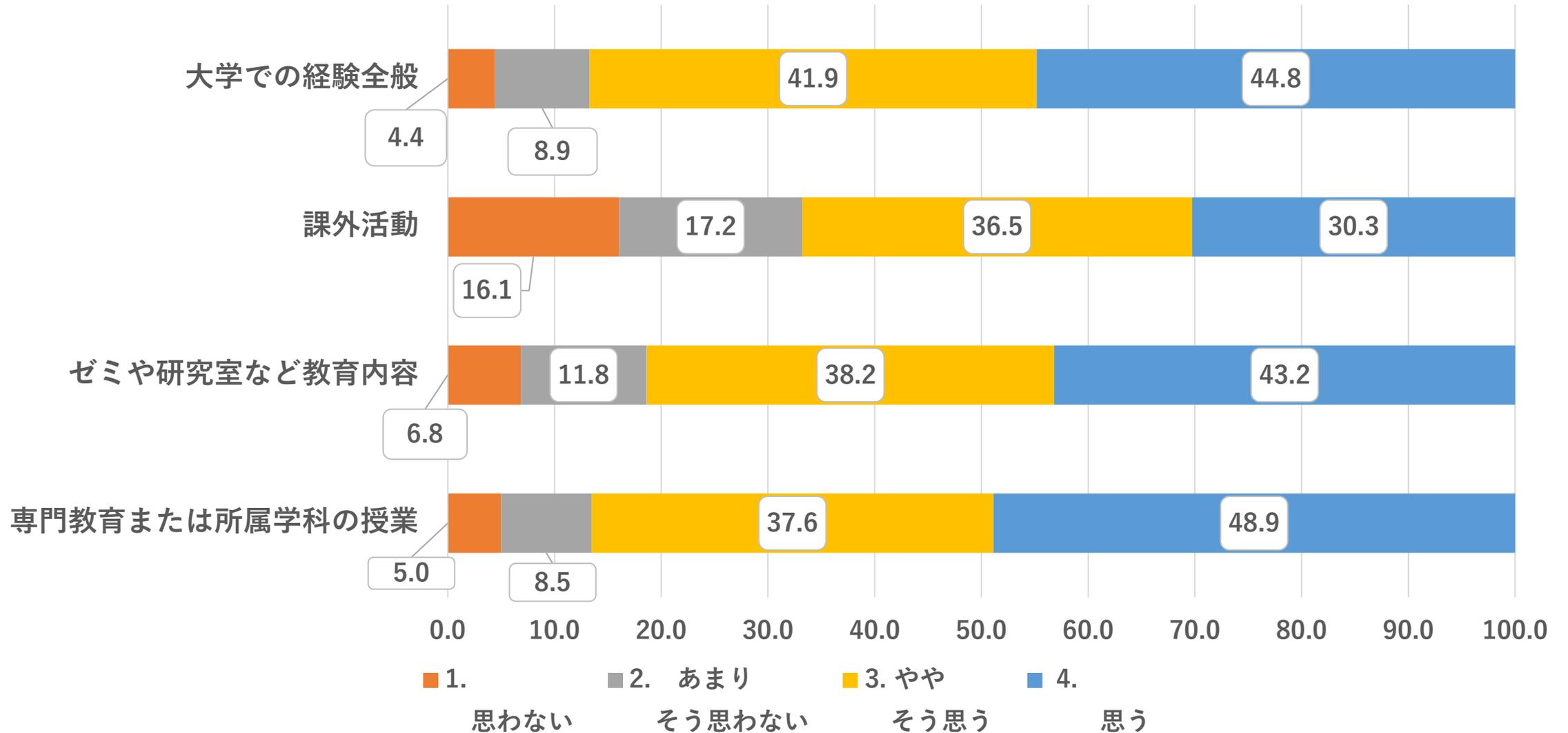
社会性・学びの継続

単位：%



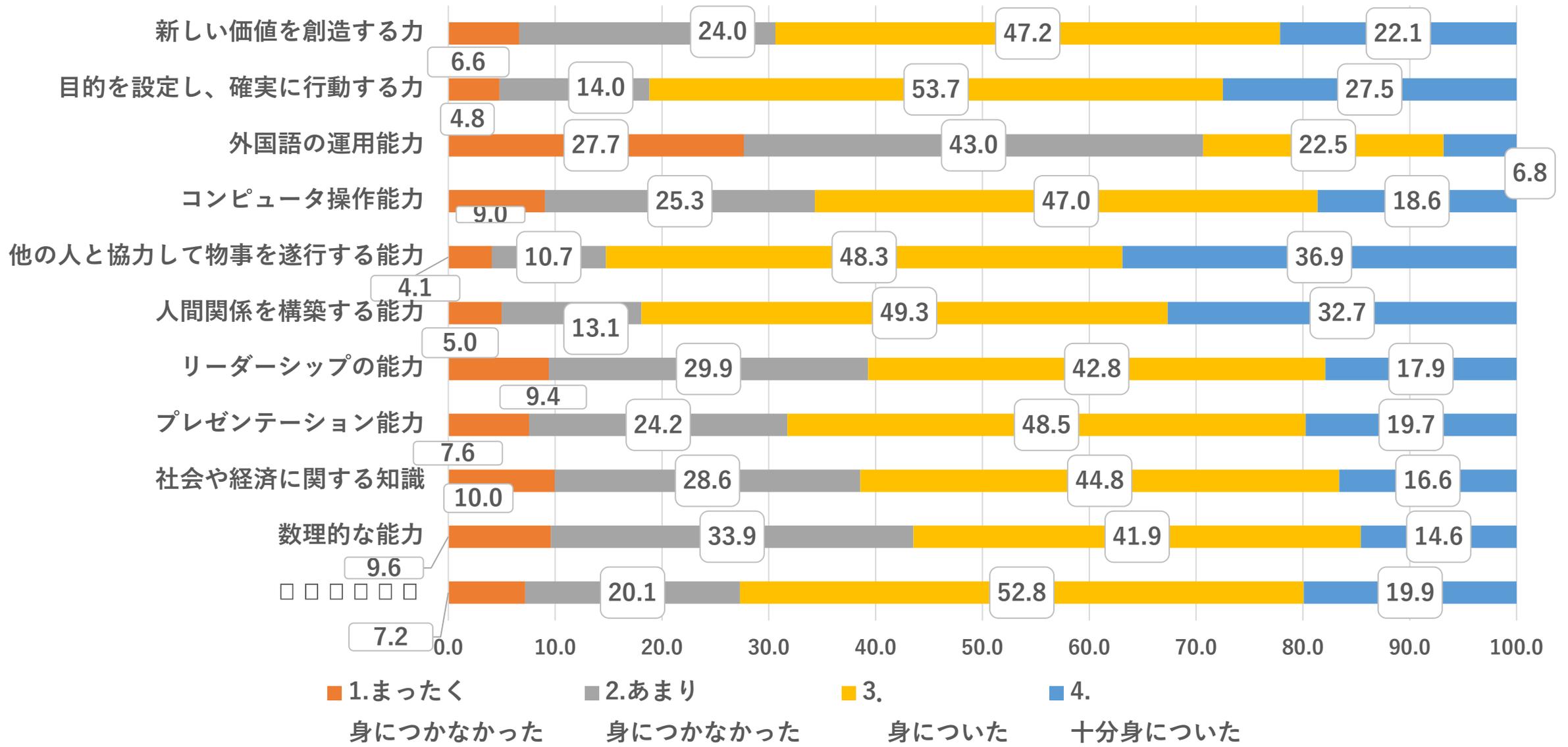
成長実感

単位：%



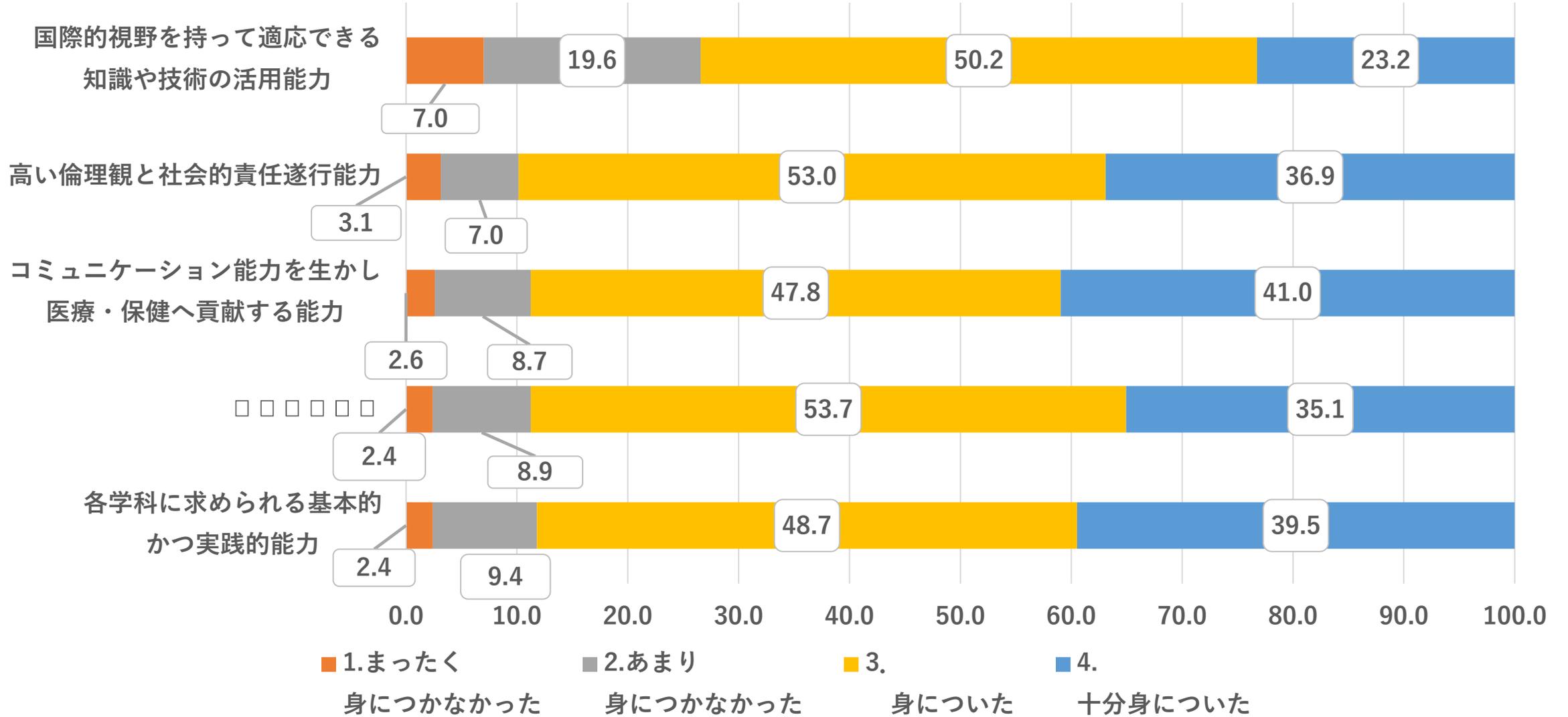
卒業時の知識・能力

単位：%



【保健学部】ディプロマ・ポリシーに定められた能力

単位：%



総評：保健学部

保健学部の卒業生に対し在学中の「学習態度・行動」、「学習経験・機会」、「正課教育の学習意欲」、「正課外活動の意欲」、「教育内容への満足度」、「人間関係・部活動への満足度」、「成長実感」、「学部ディプロマ・ポリシーに定められた学修成果が身についたか否か」等のアンケートを行った。

その結果、在学中の学習態度・行動については「課されたレポートや課題は、少しでも良いものに仕上げようと努力した」には82.1%、「授業時間外に他の学生と一緒に勉強したり授業内容を話した」には79.8%、「授業課題のために図書館の資料、文献やWeb上の情報を使用した」には74.9%の学生が行動したと回答した。これらより卒業生の多くが、在学中、主体的に学習に取り組んだことが示された。また学習経験・機会については「実験、実習、演習などを実施し、学生が体験的に学ぶ（べた）」には87.7%、「社会や将来の仕事と結びついた授業（だった）」には83.5%、特に「専門科目（に熱心に取り組んだ）」には85.4%と多くの学生が回答しており、学部の学習内容は専門性が高く、目指す職業と強く結びついていることが示された。一方、「ボランティア活動」、「インターンシップ」、「部活動・サークル活動（学園祭活動）」等、正課外活動に熱心に取り組んだと回答した学生は24.9～31%と低い結果であり、これは新型コロナウイルス感染症の流行により、未だ課外活動の制限があったためと考えられた。

大学教育内容への満足度については、「将来の仕事と授業の結びつき」には87.7%、「専門教育または所属学科の授業」には85.2%、「将来の仕事と授業の結びつき」には87.7%、「友人との人間関係」には86.0%、「教員との人間関係」には79.5%の学生が満足していると回答したことから、教育内容や対人交流を含めた教育環境への満足度は高かったと言える。さらに「卒業後も主体的に学び続けることの大切さを感じている」と答えた学生が86.7%存在し、学部教育は総合的に高い成果を出すことができたものと考えられた。

次に保健学部のディプロマ・ポリシーに定められた学修成果が身についたかについてのアンケート結果からは、「高い倫理観と社会的責任遂行能力」、「コミュニケーション能力を生かし医療・保健へ貢献する能力」、「問題解決能力」そして「各学科に求められる基本的かつ実践能力」については、各項目とも88.2%以上の学生が能力が身についたと回答した。一方、「国際的視野を持って適応できる知識や技術の活用能力」が身についたと回答した学生は73.4%と、前述の4項目に比べ若干低い結果となった。これは、新型コロナウイルス感染症の流行により依然として海外研修が制限されたことが影響していると考えられた。

これらのアンケート結果より、現在の学部教育は、将来、保健医療分野の職業において十分な実力を発揮できる人材を養成していると考えられた。